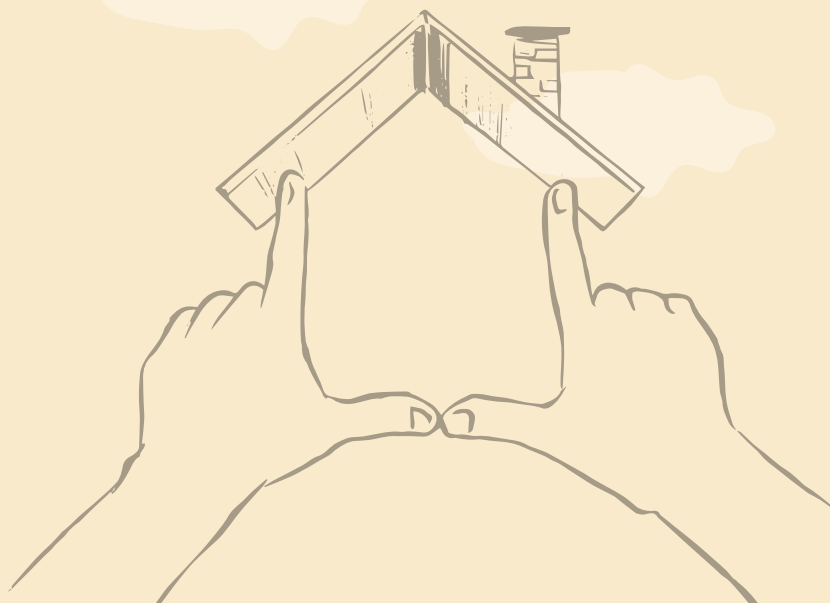


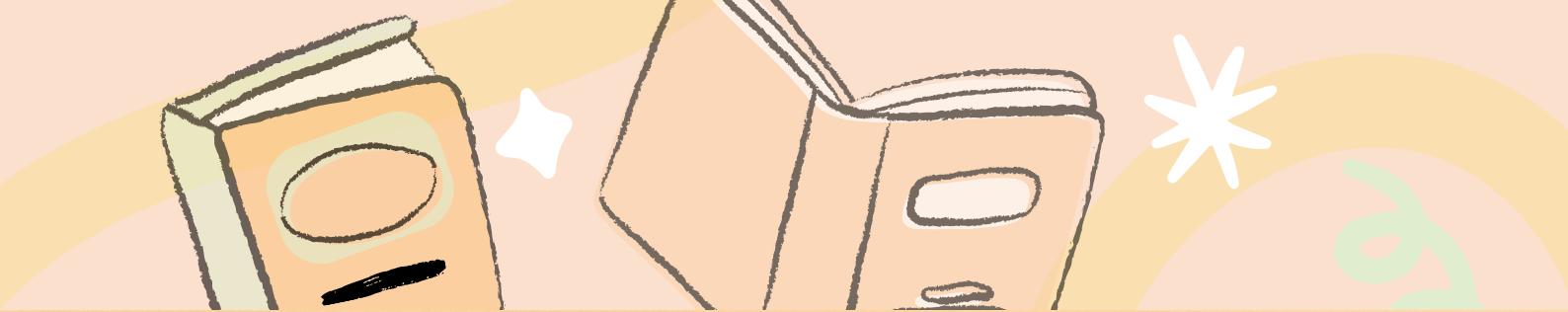


Living with Money

~豊かに生きるためのお金の学び~



教師用指導書



—はじめに—

みなさんの生活は、どのようなもので成り立っているでしょうか。
食べること、着ること、住むこと。それだけではありません。
人とのつながりや地域・社会における活動など、さまざまな
関わりの中で、生活は成り立っています。

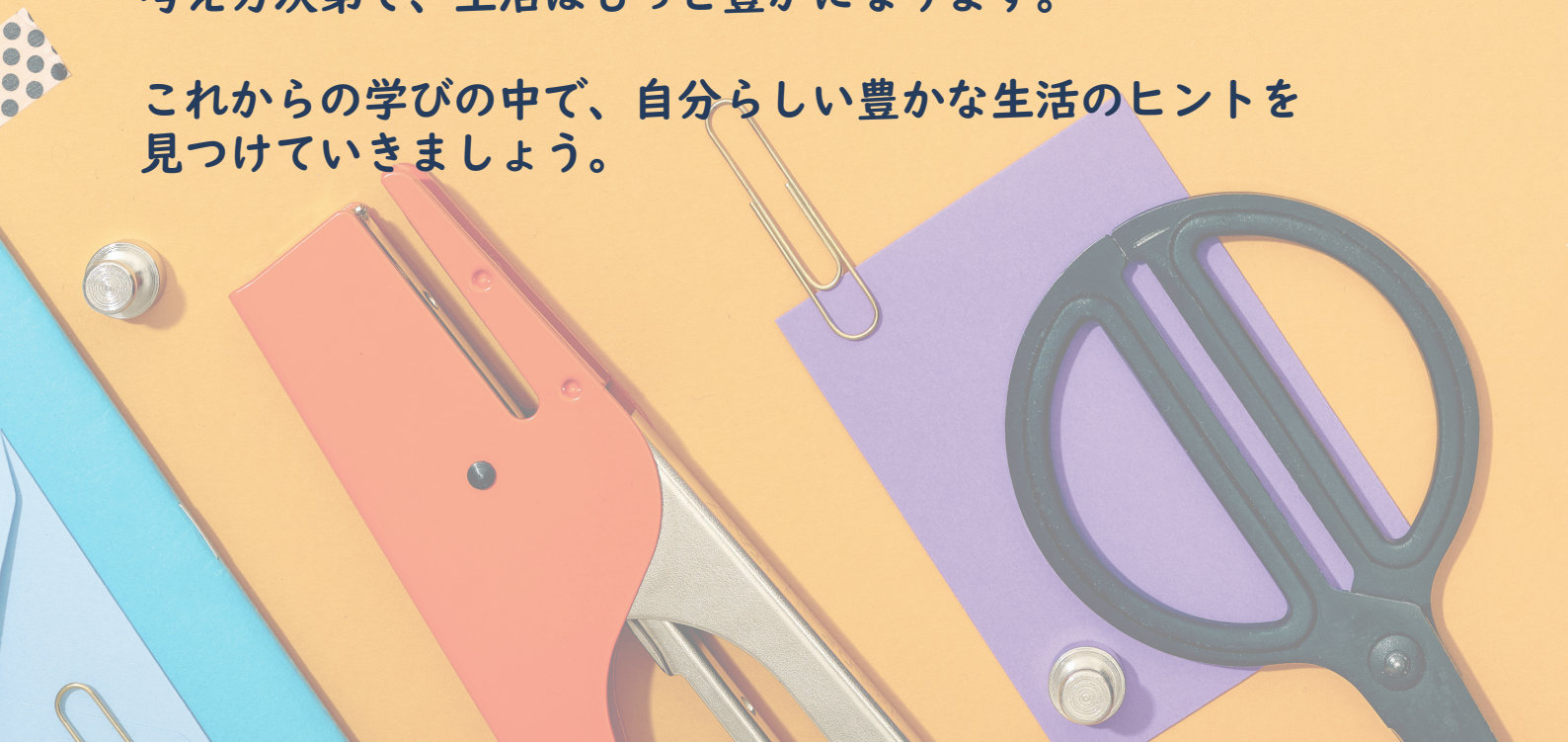
家庭科では、そんな日々の生活をより豊かにするために必要な
ことを学びます。

その一つが、「お金」との付き合い方です。

どう使う？ どう貯める？ どう守る？ どう稼ぐ？ どう増やす？

考え次第で、生活はもっと豊かになります。

これからの学びの中で、自分らしい豊かな生活のヒントを
見つけていきましょう。





一目次



<ガイダンス>

- 1. 大人になるってどういうこと? p 3
- 2. 毎日の生活を支えるものって何だろう?【家庭編】 p 5
- 3. 毎日の生活を支えるものって何だろう?【社会編】 p 6
- 4. 生活とお金のつながりを考えよう p 7
- 5. 生活を支えるモノマップ p 8
- 6. 卒業を迎える自分へ手紙を書こう p 9
- これからの学びの「キーワード」 - p10

<5つの力>

- 稼・ 守
- 使
- 使
- 貯・ 使
- 使
- 貯・ 使・ 守
 増・ 稼

<第1学年>

- 1. 未来につながる衣生活プランを作成しよう p11
- 2. 未来につながる住まいをデザインしよう p14

- 貯・ 使・ 守
- 貯・ 使・ 守

<第2学年>

- 1. 未来につながる調理に挑戦～私たちが作るとん汁～ p17
- 「チョク家」のメンバー紹介- p24
- 2. 生活するために必要なお金を見てみよう p25
- 資料「チョク家 父・母の給与明細」- p 26
- 3. 家計管理に挑戦してみよう p29

- 貯・ 使・ 守
- 貯・ 使
- 稼
- 守・ 稼

<第3学年>

- 1. 投資を体験してみよう p32
- 2. 子どもを育てる～どんな支援が必要?～ p43
- 3. 夢を叶える第一歩～「働く」ってどういうこと?～ p45
- 4. 学習を終えて～3年間の学びを振り返ろう～ p48
- 資料「チョク家 父・母の給与明細」 <指導書用>- p 49

- 使・ 増
- 貯・ 使
- 稼
- 貯・ 使・ 守
 増・ 稼



1. 「大人」になるってどういうこと？



? 考えてみよう

中学生の自分は、もう「大人」？まだ「子ども」？

中学生の自分は・・・ 大人 or 子ども

<理由>

大人 → (例)自分の行動に責任を持たなければならない場面が増えてきたから。

子ども → (例)食事やお金の管理など、生活の多くを家族に支えてもらっているから。

生徒が生活面・学習面・対人関係など多角的な視点から自己を捉え、「大人／子ども」の判断を多面的に考えることができるよう指導する。



自分でできること・助けてもらっていることを整理しよう



	自分でできること	助けてもらっていること
生活面	(例) 朝ご飯を自分で準備している お小遣いの管理ができる 洗濯ものを畳んでいる	(例) 朝、起こしてもらっている 習い事へ送迎してもらっている 毎食作ってもらっている
学習面	(例) 自宅学習の時間を確保できる 宿題を期限内に提出できる 分からないところを質問できる	(例) 声をかけられてから勉強を始めている 提出期限を教えてもらっている 分からない問題は教えてもらっている
他者との 関わり	(例) 友人とトラブルがあった時は、 自分たちで話し合っ解決できる 自分から挨拶ができる 困っている人がいたら声をかける	(例) 人間関係で悩んだ時に相談している 意見を言うのが苦手で周りにフォロー してもらう 意見が対立した時に、相手が譲って くれることが多い



日常生活を多面的に見つめ、「自分でできること」と「支援が必要なこと」を整理することで、自立と共生の視点を育てることを目的とする。





「大人になる」 → (①) **自立**)すること

↓
(②) **共生**)につながる

「自立」「共生」とは、どのようなことだろう？

「自立」とは？



生活に関わる知識・技能を身につけ、それらを実践することで自分らしい生活ができるようになること。



「共生」とは？



生活を支える立場の一員として、家族や地域の人々ともによりよい生活をつくっていけること。



《振り返り ～「自立」と「共生」を目指して、今の自分ができること～》

【評価の観点】

「自立」＝自分でできることを増やす意識、「共生」＝周囲と支え合う意識を踏まえて振り返りが書けているか。

家庭・学校・地域など具体的な生活場面にに基づき、自分の役割や行動目標を挙げられているか。

他者との関わりを肯定的に捉え、協力の姿勢や他者理解へつながる記述が見られるか。



2. 毎日の生活を支えるものって何だろう？【家庭編】



考えてみよう



家庭の中で行われていることはどのようなことだろう？

(例) 食材の買い出し、献立を考える、調理、配膳、掃除、洗濯、衣替え、家計管理、介護、看病、ゴミ出し、子どものお世話 など



p 8 5.生活を支えるモノマップ【家庭（内側）】を完成させよう
～家庭の中で、私たちの生活を支えているモノや行為を書こう～

【家庭】の中での支えを整理してみよう



生活の場面(家のこと)

誰が主にしている？

食べる

看護・介護する

住む

着る

育てる

(例)自分、兄弟、親、祖父母 など

《振り返り ～ p 8 生活に必要な物マップを作ってみて気付いたこと～》

【評価の観点】

家庭内の役割や支えを、自分の生活に即して捉えることができているか。
家族の働きへの気付きが、感謝や協力の意識につながっているか。
家庭と自分の関わりについて、今後の行動を考える姿勢が見られるか。



3. 毎日の生活を支えるものって何だろう？【社会編】

? 考えてみよう



家庭外で、私たちの生活を支えてくれているもの・人を書いてみよう

(例)スーパー、農家、ごみ収集の人、クリーニング店、
医師・看護師、学校や習い事の先生、公共施設、
交通機関、配送業者 など



p 8 5.生活を支えるモノマップ【社会（外側）】を完成させよう
～家庭の外で、私たちの生活を支えているモノやサービスを書こう～

【社会】の中での支えを整理してみよう



生活の場面(家の外のこと)

誰がしている？

食べる

(例)農家の人，調理師

看護・介護する

(例)介護士，医師，

住む

(例)大工，ごみ収集の人

着る

(例)デザイナー，クリーニング店の人

育てる

(例)先生，見守り活動の人

《 振り返り ～ p 8 生活に必要な物マップを作ってみて気付いたこと～ 》

【評価の観点】

社会の支えを、具体的な人・仕組みと関連付けて理解しているか。

家庭と社会の役割の違いを区別して考えられているか。


社会の支えに気付いたことが、広い視野で生活をとらえる態度につながっているか。




4. 生活とお金のつながりを考えよう



はじめに


2・3時間目で作成した「生活を支えるモノマップ」を見て、
お金が関わっているものにお金マーク  をつけよう。

 気づいたことを書こう

(例)生活のほとんどにお金がかかっていることに気付いた。

家で何気なく使っているものにも費用がかかっている。

家計の大変さや、お金の使い方を考えるきっかけになった。


 生活に関わる多様なモノ・サービスに「お金」が関与していることを理解しているか。



《まとめ》 ()の部分に自分の考えを書こう

お金は、((例)毎日の生活を支えてくれる大切な

(例)生活に密接に関わっている) ものである。

 学習内容を踏まえて、自分の言葉でお金の役割を表現できているか。





6. 卒業を迎える自分へ手紙を書こう



卒業を迎える自分への手紙

- ・今の自分を振り返って
(今の自分はどれくらい自立・共生ができているか等)
- ・未来の自分に向けて
(卒業間近の自分にどのような姿になっていて欲しいか等)

卒業を迎える自分へ



この手紙は「評価対象」ではなく、自己理解を深める活動であることを伝える



最初のガイダンスで書いた手紙は、3年生のまとめの時間で読み返すことで、生徒が自分の成長を実感できるようにする。

()年()月()日()より

これからの学びの「キーワード」

「お金にまつわる 5 つの力」



貯める



「必要なもの」と「欲しいもの」を分けて優先順位を考え、計画的にお金を管理する力

増やす



お金を増やすための方法やリスクを学び、長期的な視点でお金を育てる力

稼ぐ



働くことの意義や仕組みを理解し、経済的自立に向けて行動する力



使う



自分の消費行動が環境や社会に与える影響を考え、責任ある選択をする力

守る



トラブルや詐欺のリスクを理解し、適切な判断で安全にお金を管理する力

